

口頭発表「動物を飼育して、子どもや先生が感動するとき」

—4059名の子どもと161名の教員のアンケートより—

小椋郁夫



1 はじめに

現在、『豊かな人間性を育む教育』や『生命尊重の教育の必要性』が各方面で叫ばれており、以前よりも学校現場での学校飼育動物の必要性が叫ばれてくるようになって

いる。そこで、今回、各小学校の先生方や児童に対して、学校飼育動物に関する声を聞き、飼育するすばらしさを各方面の提案したり、飼育の不安や疑問についての説明会や資料を作成したりしようと考えアンケートを実施した。

2 アンケートの方法

『小学校の学校飼育動物に関する情報についてのアンケート』を小学校の先生や児童の皆さんに対してとらせていただいた。多様な感動した内容については、『自由記述方式』で実施した。アンケートの主な内容については次の通りである。

【児童用】 () 市 学校名・学年 () 小学校 年)

◎ 合うものに○をつけてください。

◇ 記入した人 () 飼育委員会 () 飼育学年 () その他 []

◇ あなたの小学校では、どんな動物を飼育していますか？

(飼育小屋や教室での飼育のことです。)

1. 飼育する中でどんなことを感じていますか？書けるところを書いてください。

(左に動物名、右に気持ちを書いてください。)

問1. 飼育していて、うれしかったことは、どんなことですか？

問2. 飼育していてうれしかったことは？(左に動物名、右に感じていることを記入してください！)

=以後同じ表に、5つまで、自由記述させる。=

問2. 飼育していて、分かったことは、どんなことですか？

問3. 飼育していて、悲しかったことは、どんなことですか？

問4. 飼育していて、困ったことは、どんなことですか？

問5. 飼育していて、分からないこと(聞きたいこと)は、どんなことですか？

◇ 飼育する中で、動物についてどんなことを感じていますか？書けるところを書いてください。(左に動物名、右に気持ちを書いてください。)

問6. 飼育していて、動物がかわいと感じたのは、どんなこと(とき)ですか？

問7. 飼育していて、動物ってすごい！と感じたのは、どんなこと(とき)ですか？

問8. あなたが学校で飼育してみたい動物は何ですか？

【教師用】 () 市 学校名 ()

◎ 該当するものに○をつけてください。

◇ 記入者 () 飼育委員会担当教諭 () 飼育学年担当教諭 () その他 []

◇ あなたの小学校では、ほ乳類、鳥類、は虫類、両生類 魚類などの動物を飼育していますか？=飼育施設、教室飼育を含みます。=

() 飼育している () 飼育していない () 把握できていない

◇ 飼育しているとお答えになった方にお伺いします。

=飼育していない方にも飼育への期待, 病気, 関係諸機関との連携等についての質問を行った (略)
=

問1. 飼育動物についてお教えてください. (数の多い動物種からお願いします) =11種まで記入=

◇ あなたが飼育担当として, 子どもと共に飼育する中でどんなことを感じていますか?

問2. 飼育していてうれしかったことは? (左に動物名, 右に感じていることを記入してください!)

問3. 飼育していて分かったことは?

問4. 飼育していて悲しかったことは?

問5. 飼育していて困ったことは?

問6. 飼育していて分からないこと(専門家や関係諸機関に聞きたいことなど)は?

問7. 飼育動物を授業に生かしていますか? (はい・いいえ)←どちらかを○囲んでください.

問8. 「はい」の学校はどんな教科等のどんな授業に生かしていますか? その成果は何ですか?

9. 貴校での動物飼育の目的は何でしょうか? 該当する()の中に○を付けてください.

() 情操教育として () 教材として () 鑑賞・愛玩用として (複数回答可)

() 以前から飼われていたから飼育している その他 [

]

問10. 飼育動物の事で疑問がある場合はどうしていますか? (複数回答可)

() 所属校の動物飼育に詳しい先生に () 動物飼育に詳しい知人に

() ペットショップに () 近くの獣医師に () 本やインターネットを参考に

() 相談する人がいなくて困っている その他 [

]

問11. 貴校では, 動物飼育に関する獣医師(獣医師会)と連携しての支援体制がありますか?

() はい () いいえ () 分からない

問12. 獣医師(獣医師会)との連携をされている場合の課題は何ですか? (複数回答可)

() 獣医師が飼育の様子を見に来てくれない () 動物を病院につれていく時間がない

() 診療費がどのくらいかかるかが心配 その他 [

]

問13. 土曜日, 日曜日の休日は, 飼育舎の動物を誰が世話をしていますか. (複数回答可)

() 学校職員 () 児童 () 保護者 () 地域の方 () 世話しない その他 [

]

問14. 学校の動物飼育活動に関してご意見のある方は, 下に書いてください.

3 アンケートの結果

小学校1年生から6年生まで, 動物を飼育されている岐阜県内の児童4059名, 先生161名から, アンケートが集まった. 全て自由記述であるので, 集計や分析には多くの時間がかかった. ここでは, 教師と児童のアンケートの概要の分析について報告する.

(1) 学校の飼育状況 ()内は学校数

①学校飼育を行っているか(112)

行っている(116) 行っていない(6)

②飼育している動物のベスト3

1位: うさぎ(72) 2位: ニワトリ・チャボ・ウコッケイ(40) 3位: メダカ(26)

(2) 161名の教師の感動 ()内は人数

①うれしかったこと(217事例中)

子どもが愛情を持って・喜んで取り組んだ(61), 子どもが生命の尊さを学んだ(36), 生命の誕生(33), 子どもが一生懸命責任を持った(31), 心が通じた(11)

②分かったこと(183事例中)

動物の行動の特徴(42), 飼育方法(23), エサの与え方(15), 子どもが動物に愛情を持ったり喜んだりする(12), 食べ物(9)

③悲しかったこと(141事例中)

死に直面して(106), 病気やけが(10), 子どもと死を悼んで(6)

④困ったこと(211事例中)

土日や長期休暇の世話(46), ふえすぎる(15), 予算(14), 病気(14), 飼育舎環境(12)

⑤分からないこと(72事例中)

病気やけがの処置(18), ふやさない方法(13), 飼育方法(9), 赤ちゃんの世話(7), エサの与え方(7)

⑥学校教育活動の生かし方(127人中)・ ・ ・生かしている(83), 生かしていない(44), 生かしている教科等: 総合(29), 理科(27), 生活科(22), 道徳(18), 国語(5), 図工(2)

⑦動物飼育の目的(132人中, 複数回答) 情操教育(96), 以前から飼育されていた(79), 教材(44), 鑑賞・愛玩用(22)

⑧飼育動物に疑問がある場合(132人中, 複数回答)

本やネット(73), 飼育に詳しい教師(70), 獣医師(50), 詳しい知人(8), ペットショップ(7)

⑨土日や休日の世話(132人中, 複数回答) 職員(83), 児童(30), しない(30), 保護者(4), 地域(3)

⑩学校飼育に期待すること(132人中, 複数回答)

授業での活用(91), ふれあい(32), 休日の飼育支援(31), 現状でよい(27), 獣医師の相談相手(19), 他校との交流(17), 飼育をやめたい(15)

(3)児童の感動 ()内は人数

①うれしかったこと(4978事例中)

エサを食べた(1267), 生命の誕生(894), 飼育できるようになった(775), 言うことを聞いてくれた(440), 元気な姿(423)

②分かったこと(3998事例中)

食べ物(549), プラス(素晴らしい・すごい)の能力(533), 体の特徴(390), 行動(358), 食べ方(321)

③悲しかったこと(3599事例中)

死に直面(1773), 恐怖心(319), 脱走(190), 死への心配(163), けんか(154), 病気(151)

④困ったこと(2987事例中)

言うことを聞かない(574), 掃除(448), 汚す(401), 習性(396), かむ・こわい(307)

⑤分からないこと(1382事例中)

エサの与え方(298), 接し方(179), 生活の様子(121), 習性・体力(1167), 体の特徴(113)

⑥かわいと思ったとき(3061事例中)

食べる仕草(950), だっこして(347), 寄ってくる(305), 寝ている仕草(268), 走る・飛ぶ仕草(204)

⑦すごいと思ったとき(2102事例中)

動き(素早さ・力強さ)(835), 動き(穴掘り)(236), 食べ方(230), 体の特徴(144),

学習能力が高い(頭がいい)(141)

⑧学校で飼育したい動物ベスト10(6063事例, 複数回答)

1位: イヌ(905) 2位: ハムスター(552) 3位: ネコ(545) 4位: リス(380) 5位: インコ(358) 6位: ニワトリ(ヒヨコ)(348) 7位: カメ(285) 8位: ウサギ(278) 9位: サル(168) 10位: モルモット(147)

4 アンケートから分かること

(1)教師の感動から

教師の感動は自分が飼育を通じて味わった感動以上に, 一生懸命に飼育している子どもたちの言動に対する感動が多く見られることが分かった。常に, 温かいまなざしと協働して飼育活動を行っている教師の努力の表れでもある。

反面, 飼育に対しての金銭面や時間面の苦労も表出している。今後は, 最近国や県の関係諸機関から出されている飼育動物に関する事例集や対応策(Q & A)などの活用や獣医師や関係諸機関と十分に相談しながら進めていくことが大切である。また, 学校の動物飼育に関する事例やその中の疑問や悩みなどについての交流活動や相談活動を定期的に行っていく取組が大切である。

(2)児童の感動から

児童一人一人の豊かな感性からの感動表現は, 合計2万事例以上の文から得ることができた。児童がそれぞれの項目の中で, アンケートに記述した文言について一文ごとに多様な視点で分類した表をあとに添付した。その中から, 学校飼育動物の飼育体験を通じての多様な種類の感動が表出されていることに, 子どもの豊かな感性を感じ取れることができた。幾人かの分析に協力いただいた先生方と, 分析中に何度も「このような言葉は実際に飼育していなければ生まれない!」「われわれ大人では表現できない言葉ですね!」などと感動を交流していった。

ここでは, 飼育数の多いウサギとニワトリについて, それぞれの感動の共通点や相違点について, その一部を紹介する。

①うれしかったこと

ウサギからは, 「自分でエサをあげることができた・だっこできた・なついてくれる」など, 『飼育の成功が得やすい・扱い

やすい』ということ、また、ニワトリからは、「卵が産まれた・飼育が上手になった」など、『新しい命に触れることができる・飼育の大変さを克服していく』など、扱いやすさや世話に対する思いの違いがあることが分かった。

②分かったこと＝能力・性格・行動から＝能力では、ウサギは「穴を掘る・早く走る・ジャンプする」、ニワトリは「ジャンプする・よく鳴く」、性格では、ウサギは「おとなしい(こわくない)・かわいい」、ニワトリは「暴れる・つつく」、行動では、ウサギは「隅っこにいる」、ニワトリは「いつも動いている・羽を広げる」など、相反する行動があることが分かる。

③悲しかったこと

ウサギもニワトリも「死に直面した」ことが大きな感動(悲しみ)である。また、ウサギでは、「けんかがある・耳をかじられている・体調不良・けがをしている」など、ウサギが健康で安心して生活できないことから来る悲しさであることに対して、ニワトリでは、「こわい・つつかれる・言うことを聞かない」など、ニワトリに対する怖さと思い通りにならないことからの悲しさがあることが分かる。

以上の他にも、4059人の子どもたちの回答を通しての「生と死の体験」や「生きているもの、生きていることへの感動の体験」は貴重である。一つ一つの言葉の中に、元気と病気・けんか、食(喜)と糞(悲・苦労)、なつくと聞かない等の相反する感動、ふれあいやなつきの心の安定、また、ウサギの特徴の穴を掘って逃げる、ニワトリの特徴の鳴く・つつく(恐怖)まで、子どもらしい多様な感動体験に基づく記述がされている。また、文中には多く見られた、「命があること」や「人間と変わらないこと」、「自分では生きていけないこと」等の発見

も貴重な感動である。

5 おわりに

中央教育審議会の教育内容の改善の中で、確かな学力の育成、社会的な自立の推進、社会の変化への対応が必要であり、その前提として言葉を重視し、体験を充実するといった学習や生活の基盤づくりが重要であるとしている。豊かな体験がなければ豊かな言葉は生まれない！豊かな言葉があるから豊かな体験が充実する！言葉と体験は、どちらも成長期にある児童にとって非常に大切であり、この時期だからこそきちんと身につけさせていかなければならない。そして、学校で動物の飼育を体験させることとその体験の中での感動の記録と発表の場の設定をすることは、大きな意味を持つと考えている。

今回のアンケートに自由に記述された一文字一文字に子どもたちの感動体験を共有できた。子どもたちや関係の先生方に感謝しつつ、これからも、一人一人の子どもたちの『生命尊重の豊かな心』を育むために学校飼育動物を学校の教育活動にどのように活用していけばいいかについての実践例の紹介や事例集の作成をしようと考えている。

【参考文献】

小椋郁夫「子どもたちが、動物に感動するとき」(平成18年度シンポジウム「学校飼育動物への取組み」): pp10-12, 岐阜県獣医師会, 2007

小椋郁夫・白木和雄・堀部昇「学校飼育動物の現状と課題」平成19年度日本理科教育学会全国大会(愛知教育大学), 日本理科教育学会, 2007

(美濃市教育委員会学校教育課長)

